



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



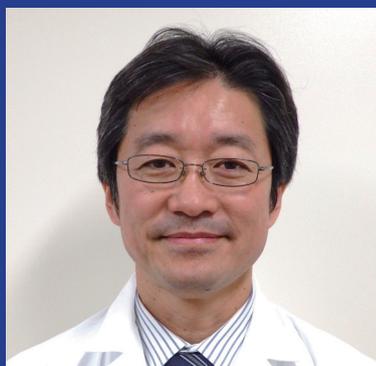
Vol.30
2022年4月号

News
Letter

おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>



副病院長 山城 隆

新緑がまぶしい季節となりましたが、新型コロナウイルス・オミクロン株の影響が未だ残っております。歯学部附属病院では、入館時の検温や問診票の記入、また、入院病棟への入室制限など、皆様方には様々なご不便をおかけしております。このような状況のなか、本院におきましても、職員の家族から感染する例が散見されましたが、幸い、歯学部附属病院、歯学部、事務部における感染クラスターの発生を食い止めることができました。

昨今の海外の報道等を見ると、私たちと比べるとマスクの装着の場面が減っています。今後、3回目のワクチン接種が広まり、また国産ワクチンが使用されるようになり、さらに新型コロナ感染症に対する薬が有効になると、“元の生活”に戻るための準備が加速することが予想されます。とはいえ、コロナウイルスの変異が急に消滅することはないかと思えます。歯学部附属病院におきましても、この2年間で蓄えた経験と知恵を最大限に導入して、安全・安心な歯科医療の提供を維持するための、“ニューノーマル”を構築します。今しばらく皆様にはご不便をおかけするかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

内面

- 特集 1.
視覚障がいのある人の
“健口”にも平等に貢献したい！
- 特集 2.
「S2DH」を推進しています
- 病院からのお知らせ

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

裏面

- 2022年1～3月の統計情報
- 病院概要



特集1 視覚障がいのある人の“健口”にも平等に貢献したい!

大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部 講師 村上旬平

■ 阪大歯学部で作った8倍大の歯模型

歯ブラシが歯に正しく当たらないと「むし歯」や「歯周病」になります。通常の歯科医院では、患者さんが手鏡を渡され自分の口の中を見ながら「歯磨き指導」が行われます。しかし、視覚障がいがあると見えません。そこで、大阪大学歯学部附属病院障害者歯科治療部、歯学部附属歯科技工士学校、大学院歯学研究科附属イノベティブ・デンティストリー推進センターでは、裏面の磁石で自分の歯並びに似せることができ、さらに触ってわかる8倍大の子ども用/大人用の「歯の模型」を7年前に発想し開発・改良を続けてきました。むし歯になりやすい子ども時代から、歯周病になりやすい大人の方まで、視覚障がいのある誰もが近隣の歯科医院で模型を使用した歯みがき指導を受けられることを目標に、全国に模型をお届けしたいと考えています。



触ってわかる8倍大の歯模型

昨年11月8日「いい歯の日」に記者会見



大人用

子ども用

生えかけの歯ならば

■ 昨年末にクラウドファンディング

全国の視覚特別支援学校(67校)、29歯科大学の附属病院、視覚障害者支援団体など全国120ヶ所に模型を届

けるため、昨年11月8日(月)(いい歯の日、記者会見も行いました)から12月24日(金)までの期間、インターネットを使った寄付による資金調達の方法である「クラウドファンディング」を開催しました。356名の方から総額10,105,000円もの温かいご支援をいただきました。多くのご支援のおかげで、全国に模型を届ける目途がたちました。ご支援いただいた方々、ご協力いただいた方々、また関心をもってくださった方々にこの場をお借りし、厚く御礼を申し上げます。

■ 秋に向けてこれからは本番

模型を全国に届けることで、視覚特別支援学校での歯科検診や歯磨き指導や、障害者歯科での診療の説明時に使っていただくことができます。さらに視覚障がいのある方やその歯科医療に携わる方が希望すれば、いつでも模型を貸し出し、使用できる仕組みづくりも目指します。本年3月から模型の製作を始めており、今秋には全国に向け発送する予定です。また学校での集団歯科指導時など必要な時にいつでもお貸しできるよう、大阪大学歯学部内にも複数個保管する予定です。

この取り組みが視覚障がいのある方々の将来の口の健康維持につながっていくこと、そして情報格差のない歯科の実現へとつながる一步になることを願い、多くの方の元により良い模型をお届けできるよう、今後とも努めて参ります。



診療室でも取材を受けました

視覚障がいのある患者さんに説明

特集2 「S2DH(ソーシャル・スマートデンタルホスピタル)」を推進しています

歯学部附属病院が、地域のみなさんとより密接につながって
お口の健康を守るプロジェクト「S2DH」を推進しています。



S2DHで将来どんなサービスを受けられるようになるの?

- SMSやインターネットを活用した、病院からの情報受信
- より安全、安心な治療方法のご提案
- スマホを使った、ご家庭でのお口の健康状態管理
- お口の病気の早期発見
- 患者さん個人の情報としての健康医療情報の相互連携



たくさんのご参加誠にありがとうございました。



<https://www.s2dh.org>



保険証の代わりに
マイナンバーカードで

マイナ受付の試験運用がスタート!!

マイナンバーカードで保険証の情報が確認できる「マイナ受付」の試験運用を開始しました。これにより、マイナンバーカードを保険証として使用することができます。

※下記の点にご留意ください

1. 各種医療証(乳幼児・ひとり親・障害者等)、生活保護受給者に交付される医療券等など一部マイナ受付ができないものがあります。
2. 試験運用中は保険証原本のご持参をお願いいたします。
3. 診察券はこれまで通り受診のたびご持参ください。



詳しくは院内掲示またはホームページをご覧ください。

お口の相談
コーナー



「はじめて歯を1本抜きました。歯ぐきが治ったら、隣の歯も含めて治療すると説明を受けました。隣の歯は削ってほしくないのですが…」

口腔補綴科 講師 峯 篤史

歯のない部位に歯をつくる補綴(ほてつ) 歯科治療の一つに“ブリッジ”があります。“ブリッジ”とは、「歯のない部分の両隣に残った歯を土台とし、人工の歯で橋のように架るかぶせ物」のことです。入れ歯と異なり取り外しの必要がなく、自分の歯とほぼ変わりなく噛める、とても優れた治療法です。しかしながら、両隣の歯がむし歯のないきれいな状態であっても、この“ブリッジ”を装着するために、相当量の歯を削ることが必要でした。そこで「できるだけ歯を削らない」ことを目標に考案されたのが“接着ブリッジ”です。

“接着ブリッジ”は、その名のとおり、優れた性能をもつ接着材で両隣の歯に固定するので、従来の“ブリッジ”と比較して、歯を削る量が大幅に少なくて済むようになりました(写真)。この治療法は、その有効性が国に認められ、歯のない部分が1本分である場合は国民健康保険で治療できるようになっています。

なお、自費診療になり手術も必要になりますが、人工の歯根を用いる“インプラント”は、隣の歯をまったく削らない治療になります。補綴治療には様々な方法がありますので、「分かりにくいこと」や「気になること」があるかと思えます。詳しいことについては担当医にご相談ください。われわれ歯科医師は不必要に歯を削ることはないのですが、「歯を削ってほしくない」も、大事なご希望です。是非とも、おっしゃってください。

奥歯の
接着ブリッジ



お口の
マ×知識



「歯科治療時の精神鎮静法」

歯の治療を受けたいが、怖くて治療を受けられない方はいらっしゃるでしょうか。また、口の中に治療器具が入ると吐き気が起こって、治療がしんどい方はいらっしゃるでしょうか。このような患者さんを対象に、当科では治療時に精神鎮静法を行っています。これは、歯科治療に対する恐怖心や不安・緊張感を抑制し、快適・安全に治療を行うために、薬剤を使用しながら治療を行うものです。この方法の特長は、全身麻酔のための設備や機械器具を必要とせず、特別な前処置や入院なども要しないことです。個人差はありますが、緊張感や不安感が減少し、眠気を覚え、快適な気分になり、時には治療中の感覚や出来事を忘れます。しかし、全身麻酔とは異なるため、身体の刺激や口頭での指示に適切に反応することができます。

精神鎮静法には、亜酸化窒素吸入鎮静法と静脈内鎮静法があります。前者は、鼻マスクやカニューレから笑気ガスを吸うもので、後者は、点滴から鎮静薬を流すものです。

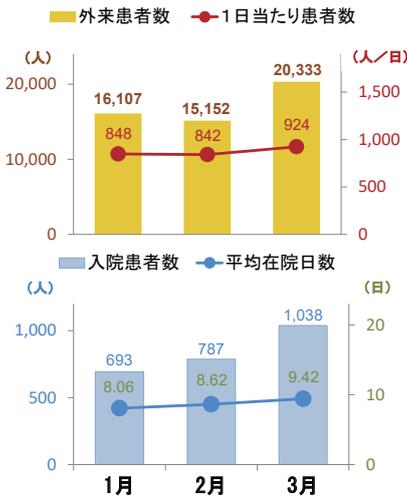
歯科麻酔科 助教 前川 博治

効果の確実性等から、当科ではほとんどの場合、静脈内鎮静法を選択しています。治療終了後は、バイタルサインが安定していること、ふらつかずに歩行できること等を確認してから帰宅していただいています。精神鎮静法を受けられる施設は少ないため、このような方法を用いずに治療を受けられるほうが、患者さんの治療機会が増えるという意味では望ましいですが、通常の歯科治療を受けることに困難を感じていらっしゃる患者さんは当科にご相談ください。

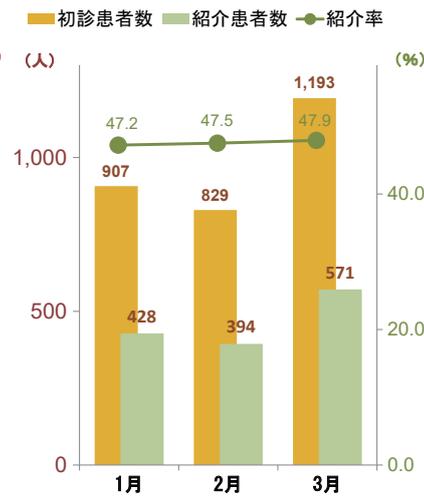


1月～3月患者数等統計

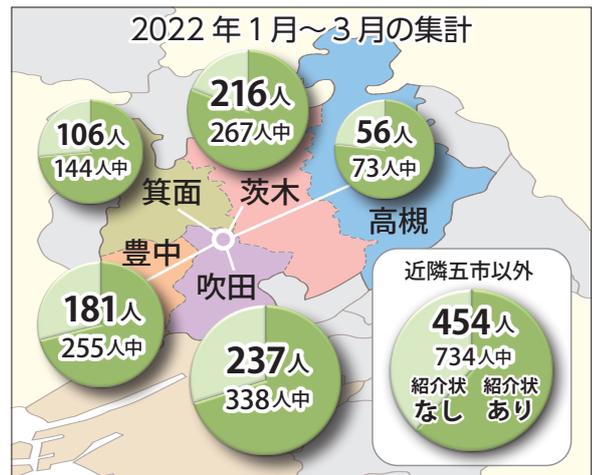
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率

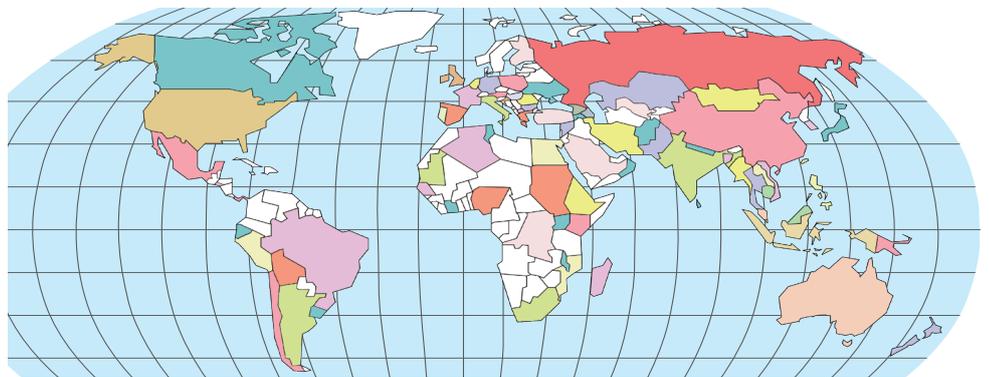
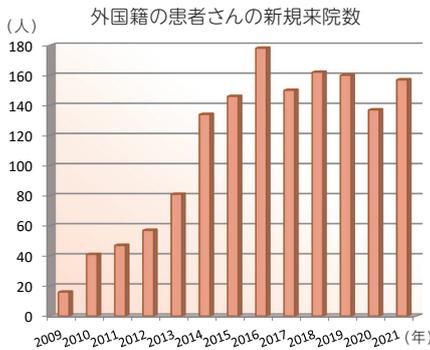


近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



外国籍の患者さんの来院数 (外来) と主な国籍の分布図

【主な国名】…中華人民共和国、韓国、インドネシア、ブラジル、フィリピン、ベトナム、ニュージーランド、バングラデシュ、アメリカ合衆国、タイ等



◆抽出条件◆ 2009年度から2022年3月31日までに大阪大学歯学部附属病院を受診した外国籍の外来患者さんの人数を集計しました。

病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）

【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかりますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しく下さい。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から当分の間、原則禁止とさせていただきます。

病院へのアクセス

https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しく下さい。

**看護師・歯科衛生士
募集中！**

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで